

久里浜地域運営協議会第 45 回定例会

(令和元年度第 5 回)

日時：令和 2 年 1 月 2 1 日 (火)

18 時 30 分～19 時 30 分

久里浜行政センター 第 1 会議室

委員出席者：小川会長、森下副会長、臼井副会長、中井理事、山田理事、
村松監事、吉川監事、君島会計、北村委員、
武田委員、島内委員

代理出席者：観光協会鈴木副会長

事務局出席者：本多館長、前田副館長、塚田

1 会長あいさつ

令和元年 1 2 月に民生委員・児童委員の一斉改選が行われ、久里浜第 2 民児協の会長が鮎澤会長から君島会長へ代わりました。それに伴い、新たに君島会長が委員となりました。どうぞよろしくお願い致します。

また、本日は観光協会加藤会長の代わりに、鈴木副会長が参加してくださいました。

2 各専門部会報告

(1) みんなの公園専門部会 (山田部会長)

例年、春と秋の年 2 回の活動をしています。来年度は横浜 F・マリノスの練習場所移転工事に伴い、春のみ活動をいたします。春の活動は、GW明けまでに終わる予定です。

(館長)

来年度の 6 月から育苗施設の撤収を含めた工事が始まる予定ですので、GW明けまでの活動は可能です。

(2) 防災・防犯専門部会（中井部会長）

資料の通り、久里浜管内の避難所運営訓練が終了しました。その中で、久里浜小学校避難所運営訓練に関しては、雨天のため中止となりました。現在、訓練を実施した学校の報告書をもとに、来年度以降の活動を検討しています。

(小川会長)

久里浜の避難所運営訓練は、久里浜連合町内会、民生委員、久里浜地区社協など様々な団体が携わっていますが、他の地域で、各種団体を巻き込んで訓練を実施しているところはないのではないかと。

首都直下型の地震は、今後30年間で70%の確率で発生すると想定されていますが、現実の問題として、どうやったら住民を安全に避難させられるか、その後の避難所運営を支障なく進められるかがこの専門部会にかかっています。

(中井部会長)

今後は、地震だけではなく、台風や大雨の事前準備についても重要なテーマになると思っています。

(3) 歴史と文化専門部会（小川会長）

お陰様で「くりはまカレンダー2020」は完売しました。みなさまご協力ありがとうございました。

先日の賀詞交歓会の会場をお借りして、これまで製作したカレンダーの原画展を開催しました。久里浜の古い町並みを紹介した原画展は好評でした。みなさまから頂いた収益は、久里浜の歴史を子どもたちに伝える活動の資金にさせていただきます。昨年度は、神明公園内で出土した「琴を弾く埴輪」の史跡版を新設しましたが、今回は夫婦橋説明板が老朽化しているので新しくしたいと思っています。

「くり太くんと浜子さんが案内する」史跡を紹介したお散歩マップを製作中です。無償で配布し、駅などに置くことも検討しています。

(委員)

製作中の散歩マップは、久里浜観光協会の広報活動に繋がるのではないかと。

観光協会は資金面の支援を検討しても良いのではないのでしょうか。

(4) 駅周辺再整備専門部会(部会長代理：森下副会長)

今はこの会議で具体的な施策を議論する以前の段階で、地権者と横須賀市が話をしている段階です。「久里浜第1地区再開発を考える会」の勉強会で、立川へ視察に行ったと聞いています。横須賀市内では追浜駅前開発事業が先行して進んでいるようです。

3 その他

(1) 新病院建設に伴う神明公園横水路の暗渠化(道路化)について(小川会長)

本多館長と2人で、山岸健康部長へこちらの意向を説明しに伺いました。ここでは、神明公園横水路を暗渠化して欲しいと考えている人からの意見と前回説明で了承したという認識はないという趣旨の話をしました。

山岸部長からは、暗渠化のための費用とスケジュールの観点から実施しないと悦明したが、説明をしたに過ぎず地元理解を得たとは考えていないという回答を得ました。

こちらは、交通量調査の結果を基に科学的根拠を明確にした上で、暗渠化が不用な理由を説明してほしいと伝えました。今の市民病院の駐車場は約140台分ですが、新病院は立体駐車場にして最低200台分は用意したいという構想段階の話もありました。次回(3月)の会議では、健康部の方からから説明があるようです。

(2) 「自分のせきにんで自由にあそぼう」について(臼井副会長)

「みんなの公園」での最後の自然体験イベントが終了しました。スタッフを含め460名の参加者がありました。

このイベントの目玉は、手作りの「豚汁」と「焼きいも」ですが、新しい公園は火を使ってはいけないので、新たな目玉を検討中です。

(3) 横須賀市の「地域支え合い協議会」について（臼井副会長）

今年度は、全6回の地域支え合い協議会が開催されました。来年度は、5月末に、各地域の支え合い活動のアピールポイントを共有することを目的とした集会を開催する予定ですので、是非ご協力をお願い致します。この協議会発足の趣旨でもありますが、「向こう三軒両隣の精神」を思い出し、安心して暮らせる街づくりを目指したいと考えています。

(小川会長)

高齢者同士で隣近所と助け合うことは不可欠の時代であることを幅広く認識してもらいたいです。行政が主体ではなく、我々自身が主体的に考えないとこの問題は解決できないと考えています。

(委員)

現在マンション暮らしの人は、同じフロアでも顔もわからない人が多い。ご近所が大切ですよというパブリシティが必要だと思います。

(委員)

今回の会議までに、これまでの「地域支え合い協議会」のポイントと5月末の集会の趣旨をまとめてほしい。事前に話し合いのテーマが分かれば、より良い議論ができると思う。

次回は令和2年3月17日(火)

午後 6 時 30 分～

久里浜コミュニティセンター 第 1 会議室